

# ばんどころ絶景祭り 2015 ～3,000人が来訪！NPO法人穎娃おこそ会が主催～

5月17日、毎年恒例となりました『ばんどころ絶景祭り 2015』が番所鼻自然公園で開催されました。今年は天候にも恵まれ、伊能忠敬が「天下の絶景」と称賛したことで知られる美しい景色やさまざまなイベント、地元ショップの出店などを多くの来場者が楽しんでいました。磯釣り体験では順番待ちができるほど多くの子どもたちでぎわい、また、番所鼻から金蓋神社までの海岸線を散策するシーウォークの参加者は「普段見ることのない自然や生物を身近に楽しめ、子どもの頃に戻ったようだ」と話しました。



▲開聞岳と海をバックに中学・高校生の吹奏楽部のライブなどがあり、演奏者も来場者も気持ちよさそうでした。



▲多くの来場者が、番所鼻自然公園での一日を楽しみました。

## 南 九州戦没者追悼式 ～関係者約200人が参列～

5月19日、南九州市戦没者追悼式が知覧文化会館で行われ、穎娃、知覧、川辺の遺族会の方などが参列されました。黙とうの後、霜出市長が式辞を述べ、引き続き来賓の代表の方々がそれぞれ戦没者への追悼のことばを捧げました。その後、参列者全員による献花があり悲惨な戦争が繰り返されることがないよう恒久平和への誓いを新たにしました。



▲霜出市長は「終戦から70年の歳月を重ねようとしている今日、悲しみに耐え苦難を乗り越えてこられたご遺族の皆さんに深く敬意を表します」と述べました。

▼コンサートの最後では、川辺フィルハーモニー管弦楽団の演奏に合わせて、校舎の方方が南九州市民音頭を踊りました。



## 第20回ホタルのタベコンサート ～神殿校区公民館が主催～

5月23日、神殿小学校講堂で第20回ホタルのタベコンサートが開催されました。神殿ホタル太鼓の発表では、神殿小学校児童に同校出身の中学生・高校生が加わり力強い音を響かせました。また、川辺フィルハーモニー管弦楽団の演奏では、市内からの来場者が「神殿校区はとてもいい場所だ。演奏もすばらしい、映画のシーンを思い出す」と耳を傾けていました。

## 平成27年 春の叙勲 受章 ～中間 幸敏さん（川辺町古殿）～

中間幸敏さんが、平成27年春の叙勲（旭日双光章）を受章されました。中間さんは、川辺町議会議員を昭和59年から通算5期20年の長きにわたり務められ議長などの要職も歴任されました。積極的な行動力と責任感の強い人柄で、広く地域住民に慕われ、福祉の向上など町政の発展に大きく貢献してくださいました。現在は、農事組合法人どんどんファーム古殿の代表理事を務めるなど活躍されています。



▲中間さんは「受章の連絡に驚いた。これは働く場をつくってくれた皆さんのおかげ。感謝の気持ちを伝えたい」と話しました。

▼勢いよくスタートする選手たち。男子の部はFC穎娃スポーツ少年団Aが、女子の部は宮脇バレー ボールスポーツ少年団が優勝しました。



## 市スポーツ少年団交歓交流駅伝大会 ～いい汗 いい顔 いい気分～

5月24日、南九州市諫訪運動公園陸上競技場周辺で8区間9.7kmのコースを舞台に、女子9チーム、男子19チームが参加し、第7回南九州市スポーツ少年団交歓交流駅伝大会が開催されました。小雨が時折降る中の大会になりましたが、団員・指導者・保護者が一団となって楽しみ、交流を深めました。結果については市ホームページをご覧ください。

▼岡山フードサービス（株）は食品の製造販売、飲食店経営を手掛ける会社で、知覧地域に新設する施設は今年9月の操業を目指しています。



## 岡山フードサービス（株）と立地協定 ～知覧地域に特殊鶏の施設を～

6月2日、市役所で岡山フードサービス（株）（大阪市）との立地協定式が行われました。ブロイラーを通常より長い期間かけて飼育する特殊鶏の鶏舎およびその処理施設を知覧町下郡に新設するものです。岡山克巳社長は、「特殊鶏の大摩桜はすでに受注が多く、生産を増やしていきたい。鶏のふんも利用した循環型農業にも取り組みたい」と話しました。

## 平成27年度「人権の花」運動 ～川辺小学校～

川辺小学校の全校児童389人による「人権の花」開会式が行われました。この運動は、花を植え育てるを通じて「命を大切にする心」など子どもたちの豊かな心を育み、人権について学ぶことを目的として行われます。三浦啓一郎校長が「ヒマワリの花を育てる中で、友だちを思いやる心の花も咲かせて」と挨拶。運動の標語には、4年生の室屋菖さんの「ともだちといっしょにわらえばしあわせだ」が選定されています。



▲児童を代表し6年生の竹下由紳くんが「みはたの心（認め合う・励まし合う・助け合う心）を胸に、みんなで力を合わせヒマワリを立派に育てます」と挨拶。